



「私は、国会が変わらない限り、都政でしっかり頑張る」

国家を左右するような問題で国会が紛糾し、国論が割れて国会前でデモが連日続くような緊迫した事態は全く無く、北朝鮮のミサイル日本上空通過の度に発信される無用なアラームにも慣れっこになってしまった時、安倍総理は「国難解散」を宣した。

本当に日本が国難に直面しているなら、解散すべきではないことは言うまでもない。

国難解散は党利党略の為の欺瞞解散に他ならない。

豊洲問題など主な問題を解決し、オリンピックに向けての方針も決めた小池百合子氏は、あの輝かしい都市ランク No.1「みなと未来」の横浜市の大成功を成し遂げた中田宏氏のような都市運営のプロに都政をバトンタッチする時が来ている。

安倍晋三氏の欺瞞解散で小池氏は都政から念願の国政に挑戦する機会が与えられた。

「国会が変わらない限り、都政で頑張る」とは「希望の党が国会でキャスティングボードを握って国会を変えることが出来るなら都政を捨てて出馬する」という意味。

10月2日の「私は100%出馬ない」発言は何を意味するのか。

小池氏は、希望の党の「過半数公認が難しい場合」は出馬しない。

もし今後200名前後の公認に自信が持てる場合は「与党がけしかけている出馬攻勢をかわす為」の「100%出馬ない」となる。

希望の党がキャスティングボードを握る可能性があれば「国会を変える為」に緑のスクーフで全国津々浦々走り回るだろう。

後者の場合与党は、对小池無責任攻勢が屋根まで上がったところで梯子を外されることになる。

臨時都議会を開いて、都知事辞任声明で豊洲・築地問題を決着したことで一定の責任を果たしたので都知事の席を後進に譲りたいとし、世論の関心を新知事候補に誘導、マスコミの焦点は否が応でも小池氏が次の知事に誰を支持するかに向かうだろう。

こうして小池氏は巧みにマスコミ(国民)の関心を小池無責任論から新知事候補に転換する。

与党が小池氏の出馬をけしかけているのは「小池無責任論」を武器にする為。

与党の見え透いた仕掛けに乗るような小池ではない。

堂々と出馬して、与党の無責任攻勢など吹き飛ばす。

出馬をけしかけたばかりに逆に小池出馬で大敗を期すのは自民である。

与党の小池無責任攻勢は欺瞞解散同様裏目に出る。

小池は最後の瞬間まで100%出馬しないと言いながら土壇場で「出馬」!

、、と読んでいるが、どうなるかお楽しみ。

増田俊男の「こころ一番!」大好評配信中!

現在、増田俊男の「こころ一番!」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダU.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03 3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 9月29日(金) No.754 ドル・円の行方
- 9月25日(月) No.754 10月からは下げ相場
- 9月19日(火) No.753 またもや「売り時」!
- 9月08日(金) No.752 問題発生は問題解決